



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立美園小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

「読書の推進」

☆図書ビンゴを通して

図書委員会の活動の一環で、「図書ビンゴ」というイベントを行っています。「動物の本」「歴史の本」などとお題が書かれたビンゴカードがあり、お題に合った本を借りて読んでいくという取組です。普段手に取らない本に触れる機会が増え、新たな発見や面白さに気付くなど、読書の幅が広がることを期待して行っています。

☆先生方の読み聞かせを通して

本校では、「先生方の読み聞かせ」を行っています。今年度は4回行う予定で、12月4日に3回目のなかよし活動のペア学年の先生による読み聞かせを行う予定です。先生方が選んだ本を読み聞かせてもらうことで、新しい本への興味や読書の面白さを改めて感じることで、読書意欲の向上に繋がったりできていると考えています。



情報センターとしての機能

「情報収集と発信の仕方を学ぶ場」

今の時代、情報検索の中心がインターネットになっています。しかし、インターネット上から「欲しい」情報を探し出し、「正しい」情報を「選択・活用」ということは、子どもにとって難しい場合もあります。その場合、「本」の活用が大事になります。

たとえば、3年生の国語科「食べもののひみつ教えます」では、一つの食材がどのような工夫をされて食べ方が変わるのかを調べて、説明文を書きます。ネット検索では、食べ物の情報がたくさんあるので、そこから自分が欲しい情報を見つけにくいのです。図書館には、「牛乳」「魚」「小麦」など、その学習に合わせた素材ごとの本があり、学習に合わせた情報がまとめられているので、その本を見るだけで説明文に使える情報を得ることが出来ます。

ネット社会とはなっていきますが、本を使って、情報の正しい見つけ方や活用方法を学び、力を付けていけるように今後も指導を続けていきたいと思っています。



学習センターとしての機能

「学習で図書の活用」

2年生「お気に入りの本を紹介しよう」、4年生「本は友だち」など、教科の単元の中に、図書を活用して学習を進めるものがあります。そのために、単元に合わせて必要な本を選定・複数購入し、子どもたちが学びやすくなるように図書館の環境を整えています。